

衆議院国土交通委員会ニュース

【第204回国会】令和3年3月24日（水）、第6回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・赤羽国土交通大臣、鷲尾外務副大臣、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東日本高速道路株式会社代表取締役兼専務執行役員建設事業本部長 森昌文君

（質疑者）山本拓君（自民）、松田功君（立民）、広田一君（立民）、井上英孝君（維新）、青山大人君（立民）、高橋千鶴子君（共産）、古川元久君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

山本拓君（自民）

- （1）北陸新幹線金沢―敦賀間の開業時期の遅延及び事業費の増額
 - ア 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下「機構」という。）に対して法令に基づいた計画の変更等を指示する時期
 - イ 前官房長を機構の副理事長に任命した意図
 - ウ 増額した事業費の積算根拠を明らかにする必要性
- （2）公共工事等における新技術活用システム（NETIS）や i-Construction により直轄工事以外の公共工事にも新技術等を導入していく必要性
- （3）建設現場で使用される遠隔操作式の重機の機器類の標準化を進めるため、厚生労働省と国土交通省の協議の場を大臣の指示で設ける必要性
- （4）港湾においてコンテナを自動運行する車両に搭載し、検査を X 線検査装置で行うシステムの構築に向けた大臣の決意
- （5）地方气象台と地方自治体の協議をテレビ電話システム等で行う必要性
- （6）小水力エネルギーの活用等によりダム等のメンテナンス費用を賄う取組の必要性
- （7）無人航空機（ドローン）にドライブレコーダーのような事故の原因を明らかにすることができる器材を装備させることについての見解

松田功君（立民）

- （1）高速道路を活用した適正なトラック物流の在り方
 - ア 高速道路のパーキングエリア等の大型車両駐車場増設に伴う問題に対する大臣の考え
 - イ トラックドライバーの労働環境改善のため高速道路料金の深夜割引時間帯を含む割引適用時間拡大の必要性
- （2）地域公共交通の人材確保のため、自動車の大型二種免許取得の支援を進め、次世代を担う若い世代の人材育成を進める必要性
- （3）地域公共交通感染症拡大防止対策事業において対象から除外されている公営の路面電車についても運行形態が類似している公営のバスと同様に補助の対象とする必要性

広田一君（立民）

- （1）中国海警法の尖閣諸島周辺海域への適用状況
 - ア 海警法の尖閣諸島周辺海域への適用状況に対する菅内閣総理大臣と国土交通大臣の認識に齟齬がある懸念
 - イ 2月22日の予算委員会における菅内閣総理大臣の答弁が海警法の適用状況に言及したものではな

- いとする外務省の見解の妥当性
- ウ 海警法の尖閣諸島周辺海域への適用についての外務省の認識
- エ 中国の考える領海等が海警法の管轄海域に含まれること、及び海警法の管轄海域に尖閣諸島周辺海域が含まれていると解すべきとの考え方に対する外務省の見解
- オ 海警法の運用について引き続き外務省として注視していくことに対する決意
- (2) 海上保安庁と海上自衛隊との連携
 - ア 連携の根拠規定である海上保安庁法第5条第19号が設けられた時期
 - イ 連携が強化された現在の運用実態を踏まえた海上保安庁法第5条第19号の見直しを検討する必要性
 - ウ 海上保安庁法第5条第19号への防衛省や自衛隊の明記を検討すべきとの考え方に対する見解
- (3) タクシー事業者支援のために高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種時の会場までの輸送手段としてタクシーの利用補助を実施することに対する大臣の見解
- (4) 公益財団法人日本観光振興協会の「日本の観光再生宣言」に対する大臣の評価及び観光産業支援の具体策の必要性

井上英孝君（維新）

東京外かく環状道路工事現場付近での地表面陥没事象

- ア 東京外環トンネル施工等検討委員会識者委員会委員長の事象の要因に係る発言及び調査結果報告に対する大臣の見解
- イ 公正中立な第三者委員会が調査を行う必要性
- ウ NEXCO東日本が被害を受けた住民に対し具体的な補償内容を提示する時期及び団体交渉を行わない理由
- エ 工事の再開条件及び見通し
- オ 今後、リニア中央新幹線等においてもシールド工法を用いた大深度地下でのトンネル掘削工事が行われることに鑑み、住民の懸念を払拭していく取組方針

青山大人君（立民）

- (1) 国道6号千代田石岡バイパス（土浦市中貫～常磐自動車道千代田石岡インターチェンジ間）の事業化の見通し及び特に南側部分についての事業化の見通し
- (2) 首都圏中央連絡自動車道（久喜白岡ジャンクション～大栄ジャンクション間）の整備
 - ア 4車線化の進捗状況
 - イ 対面通行に伴う事故対策
 - ウ 坂東パーキングエリア及びつくばスマートインターチェンジ（仮称）の供用開始時期
- (3) つくばエクスプレス8両編成化事業の整備見通し
- (4) 霞ヶ浦二橋建設に対する今後の国の取組

高橋千鶴子君（共産）

ダイヤモンド・プリンセス号における新型コロナウイルス感染症集団感染事故

- ア 事故の検証を求める全国連絡会が発表した声明文に対する大臣の認識
- イ 同号を運航するカーニバル・ジャパン社から全国連絡会への連絡の有無
- ウ 厚生労働省による事故の検証の有無及び今後の詳細な検証の必要性についての見解
- エ 厚生労働省、国土交通省、外務省、第三者及び当事者も含めた検証を行う必要性
- オ 船内にいた乗客の証言による発熱者に対するある意味人権侵害ともいえる扱いについての厚生労働省の見解

働省の見解

カ 国際クルーズ再開は慎重であるべきという考えに対する見解

キ 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除に伴う国内クルーズの段階的な再開と国際クルーズの再開は時期尚早であることの確認

古川元久君（国民）

(1) G o T o トラベル事業

ア 新型コロナウイルス感染症が広がっていない地域についてはゴールデンウィーク前にも事業を再開する可能性

イ 事業を再開する際に、旅行前にPCR検査を受けることを条件にすることやワクチン接種を受けたことによる割引を導入することの必要性

(2) G o T o トラベル事業以外に観光業や交通運輸産業を対象とする支援策を実施する必要性

(3) 船舶法に基づくカボタージュ規制

ア パナマ船籍のJR九州高速船に国内遊覧運航の特許を認めた理由

イ 国内遊覧運航の特許に当たり使用船舶を日本船籍に変更を求めなかった理由

ウ 今後も審査の条件を満たせば、外国船籍の運航を認めるかの確認

エ 税制上の公平性及び国内海運業への影響等を踏まえて今回の国内遊覧運航の特許を前例としないこととする必要性

オ パナマ船籍の乗員に船員保険の付保、JR九州高速船の就業規則及び労災保険の適用についての見解

(4) 中京圏の高速道路料金について対距離制を導入したことが利用者負担増加となっている懸念